

2016年度(H28) 医療福祉相談室年報

1.相談活動実績

1) 担当件数・退院調整件数

*項目は総数

	A2	B2	B3	C	H	S	外来	その他	計
年間退院実数	44	46	174	122	4	9			399
退院在宅	13	21	46	63	1	0			144
内院施設入所	13	10	115	56	3	3			200
訳先転院	5	7	6	3	1	3			25
別死亡	14	8	12	0	0	3			37
Dr.面談(IC)同席	28	14	20	48	2	0	0		112*
調整会議	5	2	41	37	2	0	0		87*
住宅訪問	0	0	9	33	0	0	0		42*
他院受診予約	4	3	8	31	0	0	0	0	46*
依頼箋	229	227	53	30	0	0	0		539*

⇒MSW介入ケースでの在宅退院件数が昨年半数以下となっており、退院支援看護師や病棟看護師による退院支援が定着してきていることが伺える。施設入所件数は昨年と横ばい。

2) 相談活動総数

種別 援助内容 / 援助方法	入院		外来		その他		計
	直接援助	間接援助	直接援助	間接援助	直接援助	間接援助	
虐待	29	63	1	4	0	0	97
経済問題	255	245	17	6	5	7	535
生保関係	77	186	1	6	4	3	277
受診関係	79	152	4	13	1	4	253
診断書等書類関係	118	187	5	12	5	23	350
介護保険	701	670	16	12	7	7	1413
身・精・知障害者福祉	68	65	4	3	5	3	148
その他の社会保障制度	122	92	8	6	1	2	231
施設入所	764	1059	7	0	3	8	1841
転院相談	46	106	0	0	10	3	165
医療上・療養上の問題	291	451	14	11	5	10	782
人間関係	83	88	1	0	0	0	172
情緒的・心理的援助	309	85	10	2	7	0	413
苦情相談	15	5	5	2	0	0	27
連絡調整	645	972	6	12	32	14	1681
その他	208	192	2	6	31	11	450
合計	3767	4294	101	95	118	85	8460

(退院調整との重複あり)

⇒人員体制6→4名へと変化のあった中での相談活動であったため、総数は昨年度より少ない
しかし、経済問題への人員一人当たりの対応割合は1割程度増加している。

3) 退院支援計画書作成件数(8月～3月): 計284件

	A2	B2	B3	C	H	S
退院支援計画書	101	115	1	67	0	0

⇒7月までは、A2・B2のみ。8月～退院支援加算1の算定開始したことにより、新たにB3・C・H・Sも加わった。昨年度は、43件であったため約6倍と飛躍的に作成件数が上っている。

4) 介護支援連携計画書件数(8月～3月): 計38件

A2	法人内		法人外	B2	法人内		法人外
	介護支援連携計画書①	介護支援連携計画書②			介護支援連携計画書①	介護支援連携計画書②	
介護支援連携計画書①	19	9		2	4		
介護支援連携計画書②	0	0		3	1		

⇒退院支援加算1算定要件に介護支援連携計画書作成件数の条件あり。法人内ケアマネジャーとの連携により必要な算定件数の確保ができています。

5) 退院実数399件中G法人施設利用件数 (* 再入所・再依頼含む)

①グループ法人内居宅介護支援事業所	60
②老健ちあきSS	17
③老健ちあき入所	64
④特養ちあきSS	9
⑤特養ちあき入所	1
⑥ケアハウスちあき	1
⑦岩倉小規模多機能ちあき	1

⇒施設入所200件の内、G法人内施設利用件数92件と約半数を占めている。また、在宅退院144件の内、法人内居宅支援事業所利用も60件と半数近くの利用となっている。

2.活動報告

- ・愛知民医連新聞への原稿寄稿(2回)
- ・第13回共同組織活動交流集会in東海・北陸への参加
- ・東海北陸地協ジャンボリーへの参加
- ・第11回東海北陸地協事務交流集会への参加
- ・在宅医療の地域住民への普及活動への参加(3回)
- ・友の会班会への参加(2回)
- ・法人内一職場一事例での事例発表